

清恵会医療専門学院 第2看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学案内、ホームページ上で、理念と特長についてを明確にしている。入学後は、早期に教育カリキュラムガイダンスを用いて、説明を行っている。各学年では、クラス目標として、機会毎に理念から関連付けて学生に意識を持たせている。	教育理念・目的・目標は、募集要項やHPに掲載している。入学時は、学則や新入生ガイダンス、教育カリキュラム要項等を配布し、時間をかけて説明しているが、目的達成に向け、年度毎に評価に取り組んでいく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目的・目標から各学年到達目標を設定している。入学案内にも、有資格者としてさらに専門職業人としての成長が図れるように知識・技術・感性を高め、社会の動向に対応できる応用力が求められることを掲げている。今後、保健・医療・福祉チームの中心となり地域で活躍できる看護師の育成も必要であると考えている。	専門の知識・技術・態度を身につけ、社会に対応できる看護専門職の育成に努めている。就職率は100%ではあるが、卒業後の継続状況についての追跡調査・分析は十分ではないため、母体病院との連携を今後も図っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念にあるように、感性と教養を高め、幅広い人間関係と科学的思考ができるような科目を設定している。また、自己学習力や発信力を高めるために、アクティブラーニングを取り入れている。各実習前には、社会人、医療人としてのマナーを身につけ、実習に臨めるようにマナー教育、看護倫理、医療安全の学習を行っている。学外活動は少ないが、感性を高める目的で文楽鑑賞を取り入れている。	専門の知識・技術を自ら学び続け社会の変化に対応できる看護専門職の育成に努めている。アクティブラーニングを活用した授業、演習を取り入れ、母体の医師や看護師を講師に招き、専門性の高い教育活動を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブラーニングにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	現在、通信制教育制度の変更により、2年課程の入学希望者が減少している。その中で、選ばれる学校になるために、准看護学科併設の特徴を生かして、5年一貫教育を打ち出している。今年度の入試は、男子学生の募集も決定している。また、地域との繋がりを生かした学校行事や理学・放射科併設の強みを生かした多職種連携教育を考えている。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、あらゆる場所で活躍できる看護専門職の育成、さらに臨床判断能力、コミュニケーション力、多職種連携、保健指導力を身につけ、人々のニーズに応えられる看護師の育成を目指している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人より、中長期経営計画が打ち出され、学院の課題と戦略の方向性が掲げられている。それを基に、教育理念に沿った教育方針から学校の運営方針を立てている。年度初めに科長会議に諮られ、その後各科の教員に方針が伝達されて共通理解に繋がっている。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議により、学校運営方針を確認し、看護学科、理学療法士科、診療放射線技師科と協同し、達成に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営方針と教育方針をもとに、各学年担任が年間の学年目標をたてている。前期・後期で目標に沿って進めることができたかの評価を行っている。同時に、個人目標の設定も行い、年度末に評価を行っている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学校運営にあたり、組織図のもと、教務会、科長会、主任会、その他各種委員会を設置し、科長・主任が中心となり委員会を開催している。学校運営のために、各委員会での役割を遂行すべく、月1回の委員会の中で協議を行っている。	学院運営会議を月1回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議に審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	学校の組織は、学院長、事務長、教務部長、教務副部長、教務科長、教務主任、専任教員で構成されている。各学年は、担任制をとり、それを補佐する教員を配置している。各学年の運営には、科長、主任が指導・管理にあっている。実習に関する事項は、主任が役割を担っている。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長と主任を含めた教員7名を配置している。教員の受け持つ各クラスの担任と副担任、また専門領域を明確にしているが、未講習の教員がいるため、教育の質向上に向け、整備を進めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については設置主体法人の規程に基づき、法人理事会で決定される。給料規定も策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラム構成のもと、年次毎の教育内容、実施方針を編成している。専任教員には周知を図ったうえで、学生にも入学時に説明し、周知を行っている。	教育理念などに沿って学科で教育課程を編成しており、教務科長および担任教員が学生に明確な実施方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育カリキュラムガイダンスには、「学年別到達目標」として、教育目標に沿って各学年次の到達目標を明記している。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を掲げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿って、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野Ⅰ」「専門分野Ⅱ」「統合分野」「臨地実習」を構成している。各分野の考え方として、どのような学生を育成したいかを挙げ、科目設定を行っている。各授業科目には、シラバスがあり、始講時に学生に配布、周知している。	教育目的・目標に沿った教育課程を編成している。編成して10年以上が経過しており、第2看護学科は令和5年度のカリキュラム改定となっている。現在社会の変化に対応した教育課程の編成に取り組む。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学科の学生は有資格者の学生のため、内部・外部講師とは教育課程をもとに、学生のレディネスに合わせた講義内容になるよう調整を図っている。実習関連施設とも実習調整会議を行い、意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度状況など情報を共有し、助言を頂いている。今後は、卒業生の意見も募り、学生が興味や関心が持て主体的に学べる教育課程編成を目指したい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門職業人としての高い知識・技術・感性を身につけ、医療チームの中心となる看護師の育成を目指している。教育内容は准看護師教育からさらに高度な内容を心がけ、各学年目標においても、教育内容や教科外活動と関連して学びが深まるように設定している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けた教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか、卒業後教育と照らし合わせ、追跡し明確にしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に規定された専任教員の数が確保できていない。すべての専任教員が看護教員養成講習会を受講しているわけではなく、教員の経験年数が多様である。	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会の未受講教員が数名いる。未受講教員は当学院で教育経験を積みながら、順次受講していく予定である。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保する努力を継続して行っている。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各教員は、専門領域の研修に年1回は参加するように、目標として掲げている。個人的に自己研鑽を年間目標に挙げ、達成に向けて努力をしている。年4回の教務会の中では、伝達講習や資質向上のための勉強会等、取り組みを行っている。	施設外の研修では大阪府看護学校協議会・看護協会主催の研修会や学会、教育研修事業に参加し自己研鑽するよう努めることが望ましいが、コロナ禍であり外部への研修を自粛している。そのため、施設内では勉強会や伝達講習会などを状況に合わせて開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	外部講師、学内教員ともに、授業評価を全科目行った。実習評価は、中間評価で課題の明確化を行い、最終評価へと繋げるようにした。学習の4段階評価と基準を同じく行えるように、実習評価の評価項目・基準を見直し、移行中である。	学生の授業評価は実施しており、各教員で授業の振り返りを行い、次の授業に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則・成績査定内規により、「単位認定」「学習評価」「追・再試験」「臨地実習評価」等の科目履修許可及び卒業に関する必要事項を定めている。また、留保された科目についても「認定試験」として規定を定めて運用している。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、運営会議で報告している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年で行った行事、学習、実習については、学内で発表や報告会を行っている。クラス内だけではなく、他学年の学生や教員も報告会に参加し、双方に学びや刺激となり、共有ができています。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、コロナ禍においても学習共有の場が狭まることのないよう、学年で企画・実施を工夫しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師免許を取得するにあたり、教育課程の中の各分野で、何を学習するのかを入学時から学生に説明している。教科外活動や各実習においても、目的・目標があり、その都度何を学んで、最終的に各自が目標とする看護師像に近づけるのかを意識させている。	看護師国家試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験委員を中心に、計画を立て対策を行っている。国家試験対策は1年次から行い、2年次、3年次で段階的に内容を変えて取り組んでいる。学習課題は学生の弱点、得意分野を把握したうえで選択している。学習成果の上がらない学生には個別面談を行い、学習支援を行っている。	国家試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
	4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	准看護師免許を有している学生であるため、各施設で業務を行いながら、その施設での奨学金制度を受けている。卒業後は奨学金貸与施設への就職が多く、法人就職者は、21名中2名であった。	就職率はほぼ100%を維持している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
4-2 資格取得率の向上が図られているか		④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2018年に一度合格率が下がったため、原因と対策に取り組んだ。1年次より国家試験対策に取り組み、2020年度の国家試験合格率は100%であった。	看護師国家試験合格率は今年度は100%であった。模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施していた。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補習、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各学年とも5月に個別面談を行っている。担任より学生の状況報告が科長にあり、学科会議でも報告があるため、学科教員全体で学生の情報共有、サポートができています。学生には入学時に、法人の担当者にカウンセリングの相談が行えることを伝えている。	担任を中心に個別の学生の面談や相談を行っている。学業不振や登校の状況が気になる学生には早期に対応している。法人の学生については、職場と連携しながら学習支援を実施している。今後は、保護者との連絡も時期を考慮しながら行うようにしていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	さまざまな奨学金制度の他、市からの給付金や緊急事態宣言に伴う経済的影響を受けている学生に対し、行政の情報を集めながら教務事務が真摯に対応している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学科行事が少なく、学生が有資格者であり、自立生活者が多いため、保護者との連絡、連携は少ない。成績に関することや、進級に関する連絡・調整の必要性がある場合は、受験時の連帯保証人にあたる人物に連絡をとるように統一している。	成績不振者や出席が常でない学生に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教室の環境は40人対応の広さである。パソコン等の機器類は各クラスに設置しており、視聴覚教材は整っている。看護教育に必要な設備・用具は最低限揃っているが、物品の古さや使用頻度の少ないものが多い。建物自体も築年数が経ち、老朽化している。	建物や教材の老朽化により、学習環境が十分に整備されていない。現在、空調工事や教材の買い替えなどを行い学習環境を整えている状況である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大阪府看護協会主催の研修会等に積極的に参加し、他の准看学校と情報提供等を行っている。	高校教諭対象の進学相談会を実施していたが、緊急事態宣言の影響により中止となった。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を掲載している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加している。しかし、コロナ禍で2020年度は、オープンキャンパスと学校見学は中止とした。	感染予防のためオープンキャンパスを実施出来なかった。本校は内部者進学者は毎年5～6割いる。准看護学科在学中より教員から進学への募集活動を実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	准看護学校生徒の高年齢化と、通信制養成校の躍進により、受験生の減少が著しく、定員確保が難しい状況である。この厳しい状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は、例年大きく減少していたが2020年の受験生は、内部生の進学希望も多く、男子学生も募集など外部からも希望者が多かったので目標の入学者を上回り36名確保することができた。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を教員で話し合い、選考基準を検討した。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財 務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習に関する個人情報の遵守は、各実習前オリエンテーションで説明を行い、誓約書を記入、持参して実習に臨んでいる。個人情報を守れなかった場合の懲戒処分についても学則、実習ガイドランスに記載したものを説明している。教員も学生の個人情報保護に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習評価は、内容を改善し教員と学 生が内容を共有できるものにし、進め ている。授業評価についても全科目の 評価を実施した。	年に1度、自己評価を実施してい る。問題点の改善については、そ の都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。